

The page features a decorative design with three blue circles of varying sizes, each composed of concentric rings of different shades of blue. These circles are connected by thin blue lines that form a triangular shape pointing downwards. The circles are positioned in the upper right and lower right areas of the page.

## For KEYENCE 2009

### ログGINGソフト「それゆけ！鈴木係長」

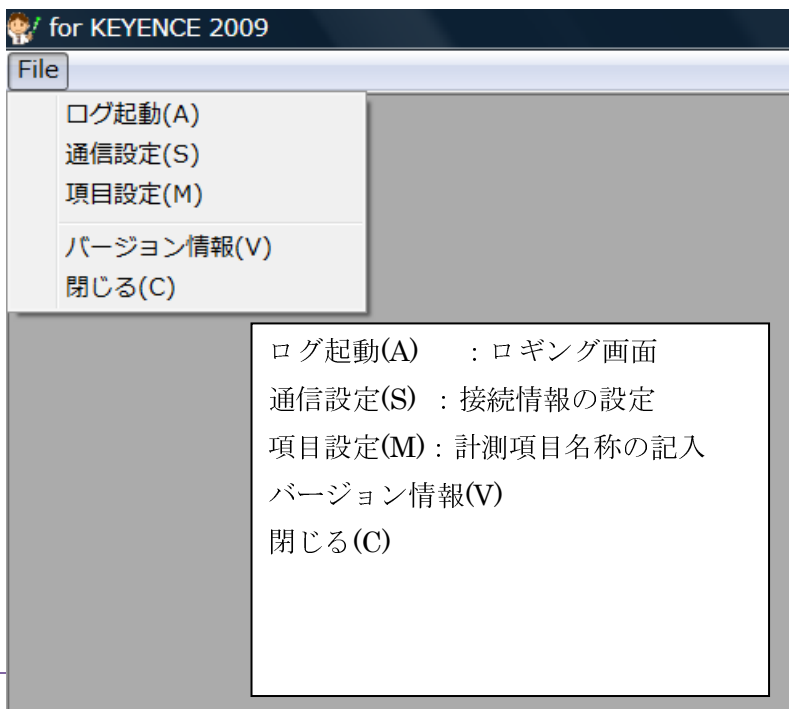
特定ビットを監視し、配下のデバイス値の読み取りを行い  
ビットの書き込み、テキスト保存、CSV保存などの  
ログの保存を目的とされたカスタマイズソフトです。

# For KEYENCE 2009 取扱説明書

この度は KEYENCE 製 PLC シリアルポート対応 特定デバイス読取りソフトウェア  
For KEYENCE 2009 「それゆけ！鈴木係長」  
をお買い上げありがとうございます。

## 目次

|            |    |
|------------|----|
| 初期設定       |    |
| 通信設定       | 3  |
| 計測記録名称設定   | 4  |
| 自動保存設定     |    |
| プログラム開始    | 5  |
| ログ取り       |    |
| 現在のログファイル  | 6  |
| CSV ファイル   |    |
| 表計算ソフトの注意点 |    |
| ログの行番号の指定  | 7  |
| プログラムの終了   |    |
| メンテナンス     | 8  |
| 動作環境       | 9  |
| エラー集       | 10 |



## 初期設定

### 通信設定 File → 「Com Set(S)」

Com Port : 通信するシリアル番号をお選びください。例)COM2

※マイコンピューターのプロパティからお調べください。

Com Speed : 転送速度 (PLC 設定による) 例)19200bps

パリティ : パリティの設定 (PLC 設定による) 例)偶数=E

データ長 : データ長 (PLC 設定による) 例)8 ビット

ストップビット長 : (PLC 設定による)

ログのタイミング : 毎秒、毎分、毎時、時刻にて対応 例)毎秒 1 秒  
(今回の設定はありません)

最大行の設定 : カスタマイズにおいて 20000 に設定  
最大行に達した場合停止いたします。  
再度スタート待ちとなります。

計測記録項目 : カスタマイズにおいて 30 に設定

設定保存 : アプリケーションパスにおける PC 内に保存

通信テスト : 通信テスト(ポートを開く)

テストを行った際は「Com out」によって閉じてください。

エラー表示は下部に赤い文字にて表示されます。(または無表示)

通信テストが成功した場合は「正常です。通信速度の変更ができます。」となります。

Com out : Port を閉じる

## 測定記録名称設定

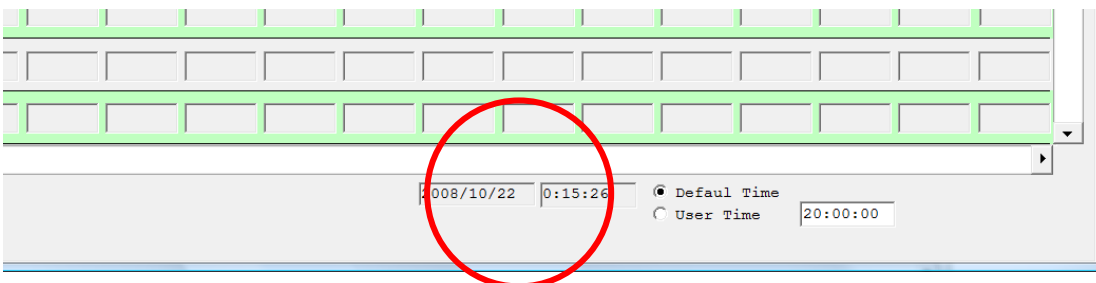
計測記録項目の入力 File → 「Measure(M)」

「Name Set」 ボタンにより保存されます。

計測項目：カスタマイズにおいて 30 項目設定



## 自動保存設定



Default Time : 計測当日の 23 時 59 分 59 秒にテキスト log ファイルを Excel 閲覧可能な CSV ファイルに自動変換保存

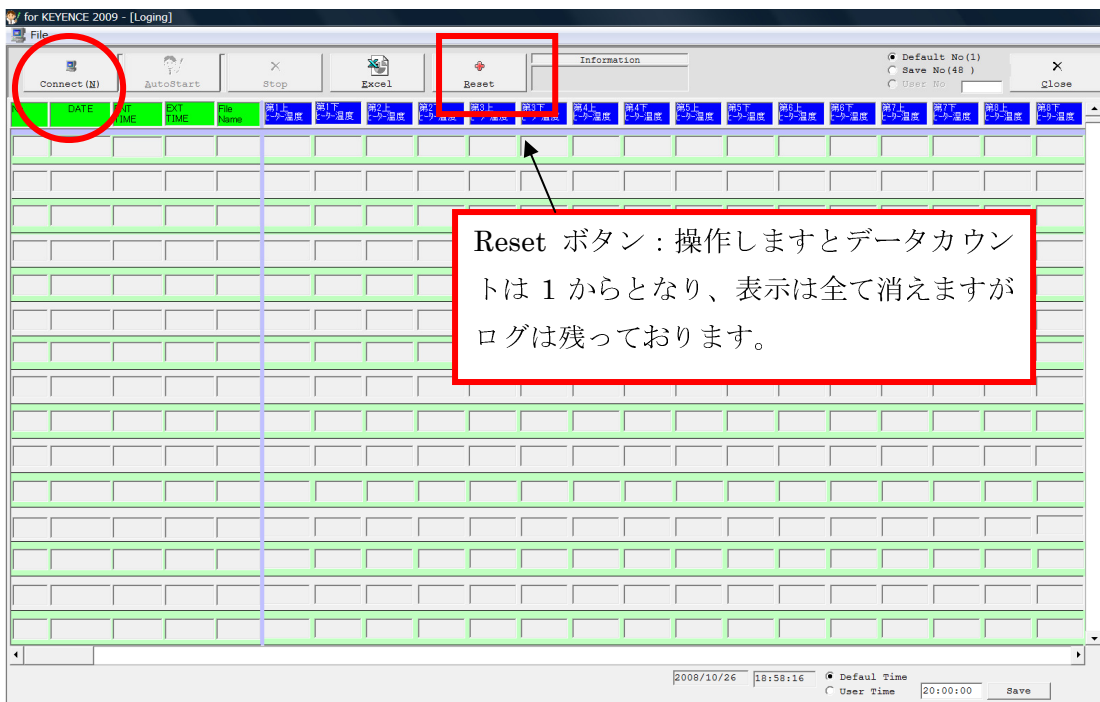
テキストファイルは削除されます。

User Time : ユーザーの設定した時間にすることも可能です。

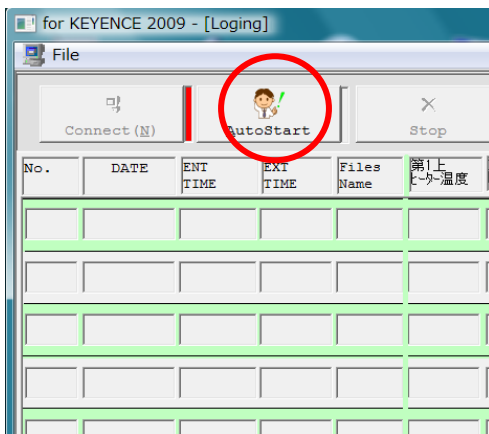
User Time の右横のテキストボックスに「時：分：秒」形式で入力して、チェックボックスをクイックしてください。

## プログラム開始

File → 「Action(A)」

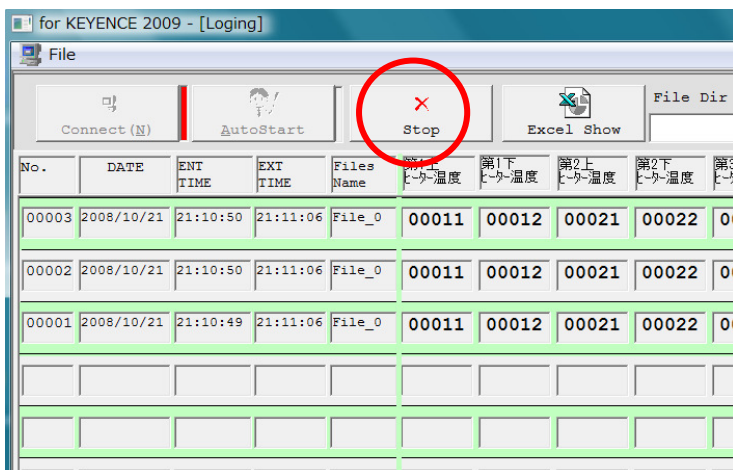


Connect : 接続ボタンによりポートの接続を行います。



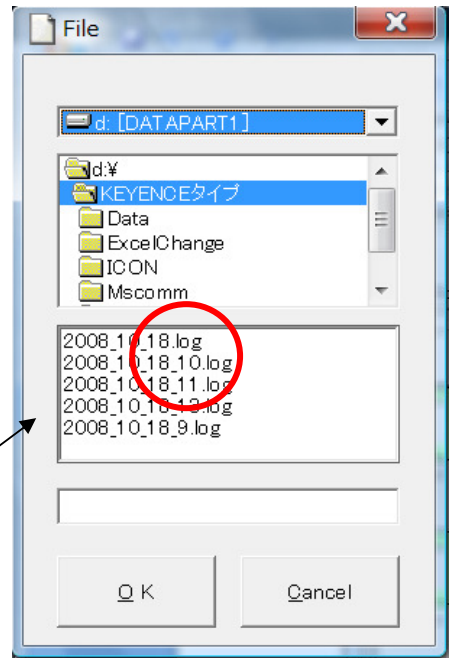
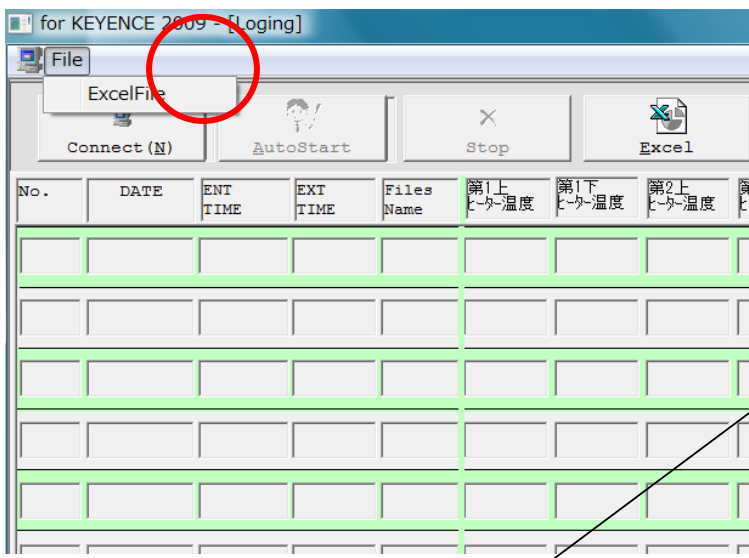
(エラー時は黄色ランプ点灯になります。)

AutoStart : 自動ログ取りボタン



stop : 一時停止ボタン

現在ログインされているファイルの閲覧は



本日付の log ファイルを選択します。

(選択画面は前回開いたフォルダになります。)

| No. | DATE       | ENT TIME | EXT TIME | Files Name | 第1上<br>ヒータ温度 | 第1下<br>ヒータ温度 | 第2上<br>ヒータ温度 | 第2下<br>ヒータ温度 |
|-----|------------|----------|----------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1   | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 2   | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 3   | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 4   | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 5   | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 6   | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 7   | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 8   | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 9   | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 10  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 11  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 12  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 13  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 14  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 15  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 16  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 17  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 18  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 19  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 20  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 21  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 22  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 23  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |
| 24  | 2008/10/17 | 14:29:00 | 14:29:09 | File.2     | 17           | 18           | 33           | 34           |

Excel 形式の CSV ファイルが表示されます。

CSV の保存されるフォルダはアプリケーションインストールフォルダです。

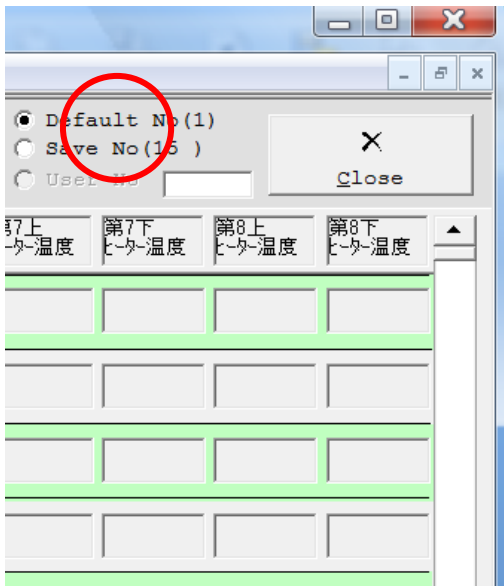
デフォルトで C:\program Files\for KEYENCE 2009\ となります。

別名で保存や、印刷などは Microsoft Office やその他の表計算アプリケーションソフトの取扱説明書に従って行い下さい。

表計算ソフトの注意点

※ログインソフトの監視中に表計算を行いますとリソースを消耗いたしますので十分なメモリがないパソコンでは動作しない場合がございます。パソコンのスペックをお確かめください。

推奨 CPU・メモリ・などは動作環境をご覧ください。・・・・・・・・・・(P9)



ログの行番号の指定

Default No(1)：通常 1 から連番管理

Save No( )：前回の記録後 左の図ではカッコ内が 15 なので  
15 からとなります。

User No：右の枠に数値を入力後、チェックしてください。  
希望の数値から始まります。

※何らかの原因でプログラムが終了した場合、  
Default No(1)になってしまいます。  
必ずご確認ください。

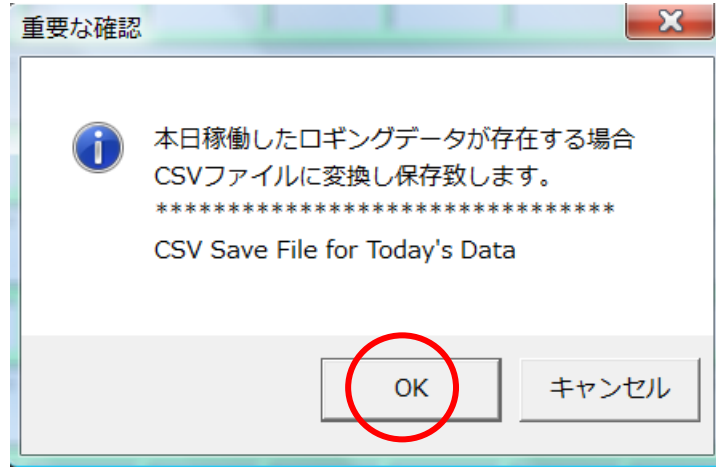
プログラムの終了

「OK」で当日の日付(例えば 2008 年 10 月 28 日ならば)2008\_10\_28.csv の CSV に保存されます。

「キャンセル」されても log ファイルは削除されません。

自動保存設定により当日分の log ファイルは設定時間に CSV 変換されます。(・・・P4)

log ファイルが存在しないときはメッセージを発生いたします。



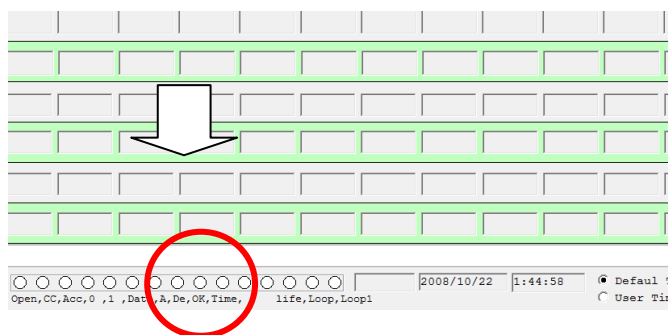
メンテナンス

フォームの余白をダブルクリックでメンテナンスランプが見られます。

各部エラーの参考にしてください。(エラー集・・・・・・・・・・・・・・P10)

左より

| 表示        | 状態                             |
|-----------|--------------------------------|
| 0) Open   | COM ポートの開閉 . 緑：正常(開) 黄：異常(閉)   |
| 1) CC     | スタンバイ 緑：通信開始可能                 |
| 2) Acc    | 監視用アクセス 緑：監視 黄：監視無 赤：異常        |
| 3) 0      | データ無フラグの確認 緑：0                 |
| 4) 1      | データ有フラグの確認 緑：1                 |
| 5) Data   | データ読み出し結果 緑：正常                 |
| 6) A      | 配列 緑：正常                        |
| 7) De     | データ有フラグの0書き込み 緑：正常             |
| 8) OK     | 0書き込みの完了 . 緑：完了                |
| 9) Time   | データ読出し用アクセス 緑：通過中              |
| 10) 空白    | -                              |
| 11) 空白    | -                              |
| 12) Life  | 生存確認 緑：正常                      |
| 13) Loop  | Loop 外 緑：通過中                   |
| 14) Loop1 | Loop 内 緑：通過中                   |
| 15) カウンター | Loop 内 15,000 カウンターで Loop 自動脱出 |





## 動作環境

### 推奨 OS

Microsoft Windows XP Home Edition Service Pack 3

Microsoft Windows XP Professional Service Pack 3

Microsoft Windows Vista premium Service Pack1

Microsoft Windows Vista Ultimate Service Pack1

(最新モデルでのご使用を推奨いたします。)

### 推奨メモリ

1GB 以上

### 推奨 CPU

Core Duo CPU

Pentium4 など

処理クロック数の高いものを推奨いたします。(2.5GHz)

### 表計算ソフト

Microsoft office 2000 以上

ロギング間隔は一秒以上です。それ以下の設定を行いますと通信エラーを生じる可能性があります。

膨大な情報量を扱う場合は各パソコンメーカーへお問い合わせください。

以上の動作環境以外ではログの数値飛び(歯抜け)が生じる場合があります。

ELECOM などの USB→RS232C 変換アダプタは通信エラーを生じます。

シリアルポートの追加が必須になります。

## エラー集

通信中の不具合によりエラーを発生いたします。

- \* 中断信号を受信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「通信異常！！」  
中断信号が受信されました。
  - \* フレームエラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「フレーム異常！！」  
ハードウェアによってフレーム エラーが検出されたとき
  - \* ポート オーバーラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「オーバーラン！！」  
ハードウェアから 1 バイトが読み取られる前に、次のバイトが受信されたため、  
そのバイトは失われたとき
  - \* 受信バッファ オーバーフローです。・・・・・・・・・・・・・・・・・・「データ異常！！」  
受信バッファに空き領域が不足状態のとき
  - \* パリティ エラーです。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「パリティ異常！！」  
ハードウェアによってパリティ エラーが検出されたとき
  - \* 送信バッファが Full 状態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「通信異常・配線エラー！！」  
1 バイトをキューに入れようとしたが、送信バッファがいっぱいになりました。
  - \* DCB エラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「イベント異常！！」  
ポートのデバイス コントロール ブロック (DCB) で予期しないエラーが発生しました。
- \* 印のエラーなどはプログラムの継続は出来ません。一度プログラムを終了させてください。  
プログラムの再起動は配線接続を確認して行いください。  
ほとんどの通信エラーはプログラムの再起動が必要です。
- その他 PLC に対しプログラムが起動中であることを宣言しておりますが、エラーにより  
通信できないときは PLC 側に起動宣言信号が発生できません。(PC 側フリーズ状態)

## Version6.0.0.23

KV-3000 用 Com Speed 変更可能にバージョンアップいたしました。

製品の改善のため告知をせずにバージョンアップすることがありますのでご了承ください。

記 2009/1/21 for KEYENCE 2009 version6.0.0.23